

## 第7回国連大学グローバルセミナー 第8班報告書

### ESD 教材『帳簿ばあちゃん』が出来るまで

#### (1) このテーマを決めた動機

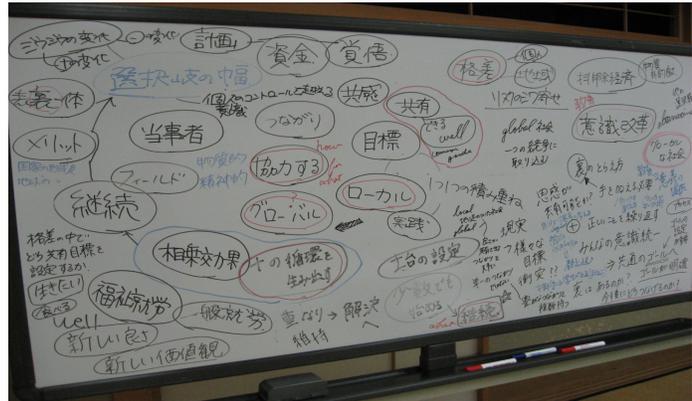
初日の基調講演と特別講師のチャールズ・ホプキンス氏の話から、多くの専門家を要してもグローバルな視野での公平な（環境・歴史・文化を背景としたニーズを踏まえた）分配は今現在では困難であると認識した。同時にこのままのスピードで、人類が地球へ圧力を加え続ければ地球自体の持続可能性が無くなってしまふということが分かった。講義終了後には、漠然とした危機感を持っていた。

#### (2) グループ討論

再度自分たちだけで持続可能な社会の実現を考えた時に、想像を絶する考慮すべき問題の多さ、複雑さから、現実には持続可能な社会の構築は到底無理なのではないかと思えてしまった。

#### (3) 発想の転換→帳簿ばあちゃん

私たちは発想の転換を行い「何があれば、答えの出ないこの問題は解消されるのか」と考え、持続可能な社会は「完全な記録」があれば構築できると考えた。完全な記録とは、①過去に有限な資源を各国がどの位消費したのかという記録②過去に各国が行った事実、そしてその事実が他の国にどのような影響



(功績、被害)を与えたか。現在では決して数値化出来ない項目が記された存在である(バーチャル)。ばあちゃんはその記録をもとに、個人の充実した生活を送るために必要なもの、その質の違いも理解し、将来もふまえたうえで公平に資源を分配できる存在である(バーチャル)。しかし、この帳簿ばあちゃんは、現実世界には存在し得ない。

#### (4) 教材化する

存在しない理想像だが、現実の世界で体現化したい。その為に、実際私たちに今何が出来るのかを考えた時「教育」の持つ力が大きいことを実感した。また、究極の存在を提示する事で近づくべき「目標の存在」ができる。THINK GLOBALLY の視点と実践の例を知り、考える機会を得る。

#### (5) この教材を利用する意義

教育によって、問題意識が生まれると同時に考える個人を増やすことが出来る。持続可能な社会について考える個人の増加は、共通の目標を持ち互いに共感することによって、協力出来るのだ。つながることで、社会に与える影響が大きくなりその継続していく可能性は高くなるのではないかと。

#### (6) グループ討論での成果

グループ討論を通じて、物事は表裏一体であるから決して「よい循環」が継続するとは限らないということも理解した。しかし、あえて今回「教育」というテーマを取り上げたとき「よい循環」が促進されると前提した。なぜなら教育は、教授する側に「希望」と「期待」がなければ受け手は惹き付けられないと導き出されたからだ。

(7) 発表内容

役	台詞
先生	帳簿ばあちゃん、彼女は、世界の富、財、全てを把握、管理してます。彼女がいるからこそ、この世界では持続可能な社会が成り立っています。ばあちゃんのところにいろいろな国が、将来の発展のためにそれぞれのセールスポイントをもって富を使うための許可をもらいに来ました。
ばあちゃん	次はどここの国？
イギリス	はい。わたしです。これからも今までの生活をずっと続けていきたいので今までどおり資源を使わせてください。
ばあちゃん	でもおたくの起こした産業革命のせいで、化石燃料の浪費が始まったし、なにより CO2 の排出量が増加したのよ？
イギリス	でも私たちのおかげで便利で豊かな生活が始まったんです。それによって生き方の幅が広がったんです。何背昔はゆりかごから墓場までそれに CO2 の排出量だって、アメリカ程ひどくはありません。
アメリカ	ちょっと待って下さい。そもそも自由主義、競争社会のどこがいけないんですか？今までみんなが自由に競争してきたおかげで豊かになったんでしょ？アメリカの生活は全世界の人のあこがれの的だったんじゃないですか？それに黒人解放、女性解放も私たちが先陣を切ったんです。
ばあちゃん	その功績は認めるけど、それにしてもあなたたちは莫大なエネルギーを使い過ぎよ。資源は有限だってわかってるの？
日本	そうですね。アメリカは使いすぎですね。私たちはプリウスを見て分かるように技術革新によって環境に配慮しています。
ばあちゃん	うーんでもねー。日本さん。あなたの国世界中から食べ物を輸入しているでしょ？輸出元でどんなことが起きているのかちゃんと分かっているの？
日本	うーん（あんまりよくわかっていないです）。たしかに沢山の食料を輸入したせいで、日本の田んぼや森があれいているのは心が痛みます。これからは足下を見直して、地産地消にも力を入れています。
ばあちゃん	それにかつてひどいことをしたでしょ？隣の国に土足で踏み込んで、戦争まで起こし、多くの被害を与えたこと覚えてる？
韓国	そうです。私たちの国は、日本のせいで植民地支配を受けただけでなく朝鮮戦争で南北分断したままなんです。やっとこれから豊かになろうとしているところなんです。もっと資源を使ってもいいんじゃないですか？
ばあちゃん	それはあなたたち苦労してきたわ。でも昔からの伝統で女性が苦しんでいたんじゃない？
韓国	大丈夫！韓国のオンマはガンヘ！！だから心配しないで。
中国	わたしの国も同じように日本に支配されていたところもあります。やっと改革開放が始まり、これから豊かになろうとしているんです。豊富な資源はありますが、まだ貧しい人が沢山いるからみんなが豊かになれるように頑張っています。

ばあちゃん	でも、縮まらない格差、人口増加、環境汚染たくさん問題をかかえているよね？
日本	そうなんですよ。だから、私たちが技術提供をして問題を解決するお手伝いをしているんですよ。
ばあちゃん	はいはい。ちょっと黙って。大企業には技術協力するけど、中国の末端の下請けにはちゃんと配慮しているの。それにあなたの国の廃棄物が、中国でどんな環境汚染をしているのかわかっているの？つめが甘いのよ！
中国	そうなんですよね。だからその問題を解決するためにも、もっと多くの資源を使ってもいいはずですよ！
ばあちゃん	でも、あなたたち 4000 年位前に結構ひどい開発してなかった？
ジンバブエ	ちょっと待ってください！！開発とか言ってますけど、私たちは明日生きられるかもわからない。何年もひどい独裁状態が今も続いていて、必要最低限のものすら私たちは得られない。
ばあちゃん	たしかにあなたのところは大変だね。
ツバル	私のところも。
ばあちゃん	あなたのところは他の国に協力を求めないと、資源があってもどうにもできないんだよ。
ツバル	そうですか。
ばあちゃん	さて未来の人の考えながらどうやって配分しようかなー。
先生	でも残念なことにこの世界に帳簿ばあちゃんはいません。過去の歴史も環境も異なった人々がそれぞれに充実した生活をしたいと望んでいます。ただ、その全ての望みをかなえようとすれば、地球がいくつあっても足りません。また私たちは未来の世代の幸せも同時に考えなければならないのです。持続可能な社会を実現するためにどの様に解決したらいいと思いますか。